

未来の
ために、
いま選ぼう。



次世代自動車という選択

優しい強い
楽しいクルマを選ぶということ。

それは環境に優しく、
災害に強い生活に繋がります。



次世代自動車とは？

次世代自動車は「大気汚染の原因となる物質の排出が少ない」または「全く排出しない」、「燃費性能が優れている」等の環境に優しい自動車です。特に、プラグインハイブリッド車（PHV）や電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）と呼ばれる車種は、自動車で蓄電や発電した電気エネルギーを動力源に使用し、高い環境性能を発揮します。

次世代自動車の外部給電機能とは？

家庭で充電できるPHV等の次世代自動車には外部給電機能を備えたものがあり、走る“発電機”としての活用が可能です。

レジャーはもちろん、災害時の非常用電源としても役立ちます。

どこでも電化製品が使えます

最大1500Wまでの電力に対応 ※使用前に、ご家庭にある電化製品の消費電力と起動電力をご確認ください。



外部給電機能を活用してできること！

1500Wを超えない
範囲で複数の家電の
同時使用が可能



携帯電話

10W



電気スタンド

20W



電気ケトル

1200W



IH炊飯器

1200W



電気ストーブ

750W



洗濯機

650W



家庭用冷蔵庫

150W



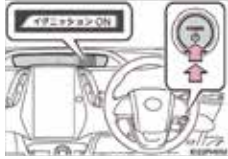
外部給電の使い方

給電方法は、車種によって異なります。詳しくは、販売店でご確認ください。

▶ プリウスPHVの場合(ヴィークルパワーコネクター装備車の場合)

運転席で操作

1 ブレーキペダルを踏まずに
パワースイッチを2回押す



2 ハンドルのボタンで
画面操作



3 EV給電モードに設定



給電口で操作

4 給電口に「ヴィークルパワー
コネクター」を差し込む



5 「カチッカチツ」と2回
連続で押す



6 点灯に変われば
使用可能



7 「ヴィークルパワーコネクター」
にコンセントを接続



次世代自動車購入には 市の補助制度があります

豊田市では、次世代自動車の普及促進を図り、暮らしの脱炭素化を推進することを目的に、対象設備等の補助制度を設けています。

詳細はこちら





非常時の電源として

▶プリウスPHVの場合…

一般家庭の約4日分の
電力を供給できます。

満充電・ガソリン満タン時に外部給電できる電力量:約40kWh
一般家庭が日常使用する電力量:1日あたり10kWh

スマホが約4,000回
充電できます。

スマホ1台をフル充電するために必要な電力量: $10W \times 1h = 10Wh$
満充電・ガソリン満タン時に外部給電できる電力量:約40kWh(=40,000Wh)
フル充電回数: $40,000Wh \div 10Wh = 4,000$ 回

やってみなくちゃ、わからない?!

次世代自動車を活用した「ミライキャンプ」

次世代自動車の「外部給電機能」を活用して生活に必要な電力をすべてまかなう“ミライキャンプ”を実施しました。



Sさんご家族

東日本大震災で被災した友人家族から苦労話を聞いており、今回体験した次世代自動車の外部給電機能があれば、震災時に助かっただろうと考えずにはいられません。我が家は子どもたちがまだ小さいので、アウトドアで家電が使えるのは助かりました。災害への備えはこれだけで万全とは言えませんが、安心感には繋がると思います。



Kさんご家族

次世代自動車は「静か」とは聞いていましたが、乗ってみたら想像以上で驚きました。走行中はもちろん、スタートや停止もスムーズで、子どもが知らないうちに眠っていたほどです(笑)。燃費も良く、環境にもお財布にもやさしそうですね。充電設備が増える等、条件が合えば、ぜひ次世代自動車にしたいと思いました。



「防災」という視点で選ぶ次世代自動車。

外部給電機能で
「いつもの暮らし」がここまでかなう。

FCV
(Fuel Cell Vehicle)
燃料電池自動車

EV
(Electric Vehicle)
電気自動車

災害時の次世代自動車の活用

携帯電話やAV機器類へ

「携帯が使える!」その安心感があるから、
落ち着いて行動できます。



調理家電類へ

災害時ほど、温かい食べ物が欲しくなります。



生活家電へ

ぬくもりがあれば、生きる勇気も湧いてきます。



照明機器類へ

明かりは安心につながります。



「自助」そして「共助」

停電や災害が発生した時、非常用の電源として役に立つ次世代自動車。各家庭で活用していただくことはもちろんのこと(=「自助」)、地域のための非常用電源としての活用(=「共助」)にご協力をお願いします。

たとえば、避難所となる体育館等の施設へ給電することができます。



インフラが崩壊してしまった災害時こそ、次世代自動車の外部給電機能はたくさんの「困った」解決の役に立ちます。万一の時こそ、大切な人の命と安心を次世代自動車でつなごう。



避難所に行くだけが避難じゃない。

ハザードマップ等



状況に応じて、適切な避難先を選択しましょう。

ハザードマップを確認したり、実際に歩いてみて、自宅や自宅周辺の災害リスクや危険箇所を事前に把握しましょう。

避難先選定フローチャート

スタート

自宅付近に災害のリスクがない。
又は、あっても影響が極めて低い。
発災後、自宅の損壊がない。

はい

避難先: 在宅避難

自宅が安全な方は避難の必要はありません。
避難する方がかえって危険な場所があります。
屋内で安全を確保しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる
親戚や知人はいますか？

はい

避難先: 親戚、知人宅

安全な親戚や知人宅に避難しましょう。
日頃から避難について相談しておきましょう。

地域で避難先の取り決めがある。
安全な自主避難場所に避難できる。

はい

避難先: 地域の自主避難場所・ 取り決めにある避難先など

身近で小規模なコミュニティ内に
滞在できる避難場所を活用しましょう。

できるだけプライバシーを確保したい方

避難先: 指定緊急避難場所/避難所 または追加開設避難所

避難が必要なときは、迷わず避難しましょう。感染症拡大が心配される状況下では、従来より避難者の間隔を広めにとるため、別の指定緊急避難場所に移ってもらったり、臨時的避難所を開設することがあります。

避難先: 車中泊避難

エコノミークラス症候群※対策など体調管理に留意が必要です。
日ごろから車中泊を快適に行えるためのグッズを備えておきましょう。
※窮屈な場所に長時間同じ姿勢でいることで、血の流れが悪くなり、血管の中に血の塊ができて肺の血管を詰まらせてしまう病気

どこへ「避難」をしても、電気は必要です。

「防災」という視点で選ぶ 次世代自動車

次世代自動車を活用することで、
災害時の選択肢が増えます。

いつ起こるか分からない

災害にも時代に合った備えを。



SAKURAプロジェクト

SAKURAプロジェクトは、環境に優しく、災害時に非常用電源として役立つ次世代自動車を活用した取組を一つの花びらに見立て、その一つひとつが集まって咲くSAKURA(桜)のように、やがてまち全体へ広がっていくことを目指す取組です。